

文献

- 尾上美喜恵, (2012). 看護実践のやりがい感に影響する要因分析. 日本看護学会論文集, 看護管理(42). 276-279.
- 小沢道子, 片田範子(1994). 小児看護. 金原出版. P136
- 木村美香, 茂木幸子, 斉木栄子 (2010). 重症心身障害児 (者) 施設で働く看護師のケア提供に対するやりがい. 日本看護学会論文集 小児看護 (41). 158-161.
- 公益社団法人 日本看護協会 (2010). 看護職の離職率.
<https://www.nurse.or.jp/home/opinion/press/2009pdf/0316sanko-2.pdf>
- 厚生労働統計協会 「国民の福祉と介護の動向」(2014/2015)
- 戈木クレイグヒル滋子 (2008). 質的研究方法ゼミナール増補版. グラウンデッド セオリー アプローチを学ぶ. 医学書院.
- Strauss, A. & Corbin, J. (1990). Basics of Qualitative Research. Techniques and Procedures for Developing Grounded Theory. 操華子訳 (1999). 医学書院.
- 高畑みどり, 河野由美 (2013). 乳児院に就業している看護師のバーンアウトに影響する要因: 全国乳児院への悉皆調査による分析. 畿央大学紀要. (10)1. 27-34.
- 高谷裕紀子, 高城美圭, 高城智圭他 (2004). 小児看護師ストレス尺度の作成とその信頼性・妥当性の検討. 小児保健研究. 63(6). 721-728.
- 内藤茂幸, 吉田澄恵, 佐藤紀子 (2014). 小児病棟の中堅看護師が仕事を続けてきた原動力. 日本看護管理学会誌. 18(2). 103-113.
- 中村あや子, 川崎久子, 二瓶恵子他 (2000). 看護婦の仕事意欲に関する研究—職場でやりがいを感じたときの分析から—. 日本看護学会論文集 看護管理 (31). 174-175.
- 浪速弘美, 宇佐美弥, 齋藤美由喜ら (2013). A 病院看護師が退院支援に感じる「やりがい」に影響を与える因子. 日本看護学会論文集. (43). 211-214.
- 夏目恵美子, 高畑正子, 三浦洋子他 (2001). 看護職の職務満足度に関する研究—A 大学病院の職務満足に影響を及ぼしている要因—. 看護管理. (32). 372-374.
- 野本真由美, 前原茂子, 原千鶴 (1999). 集中治療室で働く看護婦の仕事継続に影響を及ぼす要因の分析. 看護管理. (30). 145-147.
- 野川とも江, (1993). 地域医療. メジカルフレンド社. P99
- 松田康子, (2005). NICU 看護師のやりがいとそれに影響を与える要因. 日本看護学会論文集 母性看護(36). 169-171.

- 若井和子, 小川孝則 (2008). 乳児院における専門職の協働的役割の検討. 日本公衆衛生学会総会抄録集. (67). p.395.
- 若井和子, 小川孝則 (2009a). 乳児院での保育看護実践における看護ニーズの検討. 川崎医療福祉学会誌. (18)2. 383-392.
- 若井和子 (2009b). 乳児院における専門職のやりがいに影響する因子. 日本看護科学学会学術集会講演集 (29). 320.
- 若井和子, 小川孝則 (2009c). 乳児院での保育看護における看護師の専門的役割. 小児保健研究. (68)6. 636-642.
- 若井和子, 小川孝則 (2010). 乳児院における保育看護の専門分化による看護師の役割. 日本公衆衛生学会総会抄集. (69). p.309.
- 若井和子, 小川孝則 (2011a). 乳児院における専門職の協働意欲に影響する要因. 川崎医療福祉学会誌. (20)2. 377-382.
- 若井和子, 小川孝則 (2011b). 乳児院に就業している看護師および保育士から見た業務の専門性. 小児保健研究. (70)6, 796-802.
- 若林恵子, (2012). 大学病院外来看護師の「やりがい」に影響している要因. 日本看護学会論文集, 看護管理(42). 492-495.
- v 山本則子, 萱間真美, 太田喜久子他 (2002). グラウンデッドセオリー法を用いた看護研究のプロセス. 文光堂.